

## 祝 辞

神戸大学学友会会長 新野幸次郎

神戸大学の学術情報基盤センターの開所の式典にあたりまして、学友会を代表してお祝いの言葉を申し上げる機会を得ましたこと、大変光栄に思っております。皆様もご承知のとおり、情報センターそのものは長い歴史を持ち、そこで、色々な先生方が中心になって活躍して頂きました。この4月より、学術情報基盤センターとしてよりいっそう強固な、そして体系的な形をもって開所を迎えられたことは大変ありがたいことと思っております。

情報の収集整理分析というものは、研究をする者にとって、あるいは教育する者にとって、何よりも基盤になる大切なことでございます。その教育研究に一番大切な情報の集積、収集、整理、分析ができるようになったことは、デジタル化がどれだけ大きな貢献をしたかということの象徴ではないかと思っております。そのようなシステムが神戸大学において、全国の中では先駆的に確立されましたことは大変喜ばしいことだと思います。これを機会に本学の研究教育がさらに一段の飛躍を進められることを期待してやみません。

ただ、言うなればこの情報の収集整理分析というのは学問研究にとっては一つのハードの様なものでございます。本当の研究は言うまでもなく、それぞれの先生がたのそれぞれの分野における独創的な認識と発意に基づかなければなりません。そういう意味では、この基盤センターの発足を契機に本学の研究教育の飛躍的な発展が、さまざまな分野で行われることを期待したいと思っております。

学友会といたしましても、ご承知のように株式会社の形態で学術事業の会社を組織しておりますけれども、これからは基盤センターと一緒にあって、なんらかの充実した役割を果たせるようになれば、と祈っているところでございます。

このセンターの発足を心からお祝い申し上げたいと思います。どうもおめでとうございます。